

豊田 兼彦
法学研究科・教授

[研究]

主たる研究分野である共犯に関し、論文2本を公表したほか、日本刑法学会のワークショップでオーガナイザーを務めた。科研費を得て行っている研究のうち、補助事業期間延長により最終年度となった「幫助行為の促進性に関する研究」については、これまでの日独の関連資料の調査に基づき、一定の整理を試みた。新たに開始した「正犯責任の規範的限定：危険運転致死傷罪を素材として」については、日独の関連資料の調査を開始した。

[教育]

授業は、法学部の「演習」と「法政基礎演習」、法学研究科の「刑法」、「刑法特殊講義」及び「公法の基礎」、高等司法研究科の「刑法基礎1」、「刑法基礎2」及び「導入演習」をそれぞれ担当した。このうち、「刑法基礎2」は、担当開始からの5年間で4度目となる教員表彰を受けた。

学生向け教材については、刑法各論の教科書(共著)1点を改訂したほか、「刑法研究者が作った論証パターン」の企画に加わり、その成果を公表した。

[管理運営]

全学では、附属図書館副館長(総合図書館担当)を務めた。

部内では、ファカルティ・ディベロップメント委員会、情報マネジメント室、施設マネジメント室の各委員等を務めた。

[社会貢献]

司法試験予備試験審査委員として、司法試験予備試験論文式試験(刑法)の答案を審査した。

大阪府青少年健全育成審議会委員として、同審議会の会議に参加した。